

続^{しよく}「京都 日本画新展」の概要

1 事業の趣旨

京都における日本画は、「京都画壇」として多くの人材を輩出し、今日に至っています。また、日本画の世界を通じて育った人材は、京都に伝来する美術、工芸、産業振興に、広く深くかかわり、その基礎的部分を形成しています。こうした日本画を志す、創造性あふれた若い人材の活動を奨励し、京都文化の発展に寄与することを目指し、新たな発表の場を創設する取り組みとして「京都 日本画新展」を5年にわたり開催してまいりました。同展は一定の成果を収めてきましたが、さらに伝統文化の裾野を広げることの重要性に鑑み、異なる視点を加えた「続(しよく)『京都 日本画新展』」として、平成25年度から5年間の事業としてスタートしました。

2 主催者等

主 催 西日本旅客鉄道株式会社、京都新聞
後 援 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、
京都商工会議所、KBS京都、エフエム京都

3 運営体制

(1) 推薦委員

大野 俊明 氏 (京都市立芸術大学 特任教授)
小嶋 悠司 氏 (日本画家)
竹内 浩一 氏 (日本画家)
林 潤一 氏 (京都嵯峨芸術大学 名誉教授)
村田 茂樹 氏 (日本画家)

(2) 審査委員

尾崎 正明 氏 (茨城県近代美術館長)
菊屋 吉生 氏 (山口大学教授)
島田 康寛 氏 (美術評論家)
野地 耕一郎 氏 (泉屋博古館分館長)
吉中 充代 氏 (京都市美術館学芸課課長補佐)

4 企画概要

(1) 参加概要

原則として、京都を中心に活動している、あるいは京都にかかわりの深い概ね 25 歳から 45 歳の日本画家を対象に、推薦委員が出品依頼候補者を選出し、本人の参加意思を確認の上で出品を要請、今回は 38 名が出品。

<参考> 「京都 日本画新展」出品作品数
第 1 回 37 名、第 2 回 38 名、第 3 回 37 名、第 4 回 37 名、第 5 回 38 名)
続「京都 日本画新展」
第 1 回 39 名、第 2 回 38 名

出品依頼候補者の選出に当たっては、京滋の美術系大学を中心として、日本画の継承に尽力する現場教員などと情報交換の機会を得て、推薦対象を積極的に拡大。

大賞 1 点（表彰楯と賞金 50 万円）、優秀賞 1～2 点程度（表彰楯と賞金 20 万円）を選出。出品者全員に奨励金として 5 万円支給。

(2) 作品の条件

テーマは自由。各 1 人 1 点のみとし、未発表作品に限る。

1 点の大きさ 80 号 M (1455 mm × 894 mm) 以上

100 号 S (1620 mm × 1620 mm) 以下

額縁は 70 mm 以内とする

(3) 作品の発表

美術館「えき」KYOTO での作品展

【実施期間】平成 28 年 2 月 5 日（金）～ 2 月 15 日（月） 計 11 日間

・ JR 京都駅ビル内の美術館「えき」KYOTO で作品展を開催。

作品展には推薦委員にもご出品いただきます。

ホテルグランヴィア京都での作品展

【実施期間】平成 28 年 2 月 17 日（水）～ 4 月 25 日（月）

・ JR 京都駅ビル内のホテルグランヴィア京都フロントロビー 2 階等で作品を展示。

一定期間での展示替えを実施（推薦委員の作品は除く）

JR 西日本発行物での作品紹介

作品を JR 西日本発行のパンフレットなどで紹介。

5 事務局

京都新聞 C O M 事務局事業部 〒604-8567 京都市中京区烏丸通夷川上ル
TEL:075(255)9792 / FAX:075(255)9763 (平日の午前 9 時 30 分 - 午後 5 時 30 分)